

あなたの声を県政に、伝えよう私たちの心、夢かなうひょうごへ



議場コンサートの開催

第370回

2月定例県議会の概要

2月18日～3月26日

※その他の概要は
4面に記載

令和6年度2月補正予算を議決（3月5日）

国の経済対策補正による重点支援地方交付金を活用した取組をはじめ、年間を通じた事業実績の確定や見込み等を踏まえた精算補正予算（△280億円）のほか、県政改革推進の取組（県立大学授業料等無償化基金（仮称）の創設、県債管理基金の積み戻し、企業庁進捗調整地を県有環境林として取得）を実現するための補正予算（694億円）を議決しました。



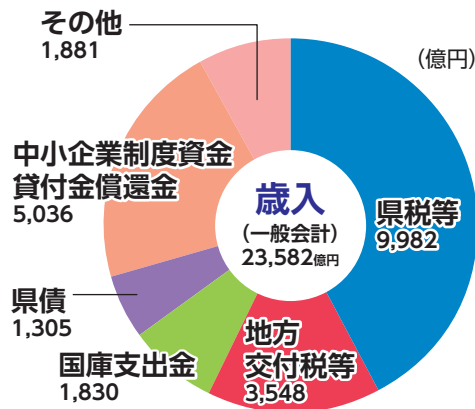
令和7年度当初予算を議決（3月24日）

創造的復興の経験と教訓を生かし、どこよりも安全安心で、夢や活力にあふれ、新たな躍動が広がる兵庫の実現をめざすための予算（総額4兆5,150億円）を議決しました。

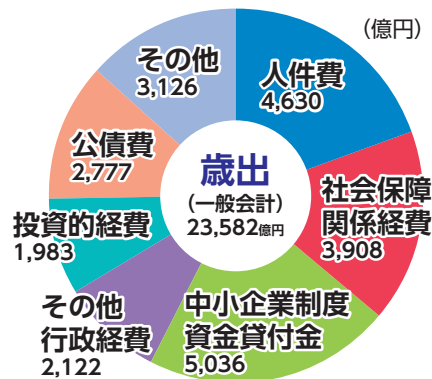
新たな躍動が広がる兵庫 次のステージへ ～令和7年度予算編成の重点～

- 誰も取り残さない安全安心な兵庫
- 若者が輝く兵庫
- 活力がわきあがる兵庫
- 県政運営基盤の構築

令和7年度 当初予算
総額 4兆5,150億円
(対前年比105%)



一般会計 2兆3,582億円
特別会計 1兆7,953億円
公営企業会計 3,615億円



兵庫県 令和7年度当初予算

検索

※詳細は、兵庫県ホームページをご覧ください。

代表質問（2月25日）

令和7年度当初予算案の評価と財政運営

自由民主党
きたの みゆる
北野実
姫路市



Q 財政課題が山積する中、2期目の齋藤県政がスタートし初めての当初予算編成となるが、令和7年度予算案に対する評価と今後の財政運営は。

A 【答弁者：知事】
令和7年度予算案は、どこよりも安全安心で、夢や活力にあふれ、新たな躍動が広がる兵庫の実現に向け編成した。一人ひとりが尊重される安全安心な兵庫づくりや若者・Z世代応援パッケージの充実などに取り組みとともに、県政改革の推進とあわせ、引き続き緊張感をもって財政運営にあたりつつ、積極的な施策展開を図る。

SNSでの誹謗中傷対策について

維新の会
かど たかし
門隆志
宝塚市



Q SNSでの誹謗中傷対策として県では条例化を検討中だが、表現の自由との兼ね合いもある難しい作業であり、どのように取り組むのか。

A 【答弁者：知事】
有識者会議で議論を重ねており、効果的な啓発や、表現の自由にも配慮しつつ実効性のある被害者支援につながる条例の制定をめざす。県、そして県知事としては、SNSにおける誹謗中傷はやはりするべきではないということを、私自身もしっかり先頭に立って、県民やSNSを利用されている方に発信をしていく。

一般質問（2月26日～28日・3月3日）

自由民主党
いとう えいすけ
伊藤栄介
神戸市中央区
質問日：2月26日

Q 地域創生に向けて、県・市町の連携にどのように取り組むのか。
A 【答弁者：知事】
幅広い分野で事業連携を着実に進めつつ、県・市町懇話会や地域づくり懇話会などの場を通じて、首長レベルでの意見交換も継続的にを行い、新たな連携の取組へとつないでいく。

ひょうご県民連合
はしもと なるとし
橋本成年
宝塚市
質問日：2月26日

Q 今回の阪神・オリックス優勝パレードをどのように総括するか。
A 【答弁者：県民生活部長】
大きな事故なくパレードを開催できたことは、一定の成果と考える。公金支出がないため事業評価はしていないが、職員の負担等、事務局運営の課題や経験は、今後に生かしたい。

維新の会
さかた たかひ
さかた たかひ
姫路市
質問日：2月27日

Q これまでの不妊治療支援の実績、条例制定の進捗、今後の展開は。
A 【答弁者：知事】
今年度創設の先進医療費と通院交通費に対する助成は、来年度は対象医療機関を近隣府県まで拡充する。全国に先駆けて制定する条例は6月定例会に上程し、重層的に施策を進める。

自由民主党
みずた ゆういちろう
水田裕一郎
姫路市
質問日：2月27日

Q 県立大学無償化よりむしろ、県立学校にかかる予算を確保すべき。
A 【答弁者：知事、理事】
県立学校への投資は不可欠で十分な予算措置が必要。県大無償化が他の事業費を圧迫しないよう基金設置を提案中だが、県立学校を対象に含める考えも今後の議論としてあり得る。

維新の会
たかあき
なか井隆晃
神戸市長田区
質問日：2月26日

Q 県立総合衛生学院と兵庫県立大学、兵庫教育大学の三者連携の進め方は。
A 【答弁者：知事】
三者の連携としては、各学校の専門性を活かした教員の相互活用やスキルアップを目指しており、現在、兵庫教育大学からは、IT化技術支援の提案をいただいている。

自由民主党
まつい しげき
松井重樹
たつの市及び揖保郡
質問日：2月26日

Q 人が人として生きる「こころ」道義と考えるが、いかがか。
A 【答弁者：総務部長】
法律は、社会における一定の秩序・ルールを定めたものだが、社会は法律だけではなく社会的規範でも成り立っており、道徳、倫理など社会的規範に沿った県政推進は重要である。

公明党
さとみ たかえ
里見孝枝
伊丹市
質問日：2月27日

Q 賃上げ実現に向けた県内製造事業者等の適正な価格転嫁への支援を。
A 【答弁者：知事】
新たに推進員を配置し実態把握や課題分析を進め、専門家が伴走支援を行う相談体制を拡充する。価格転嫁の重要性や交渉に向けたコスト計算・価格設定への企業支援を強化する。

自由民主党
まつもと ゆういち
松本裕一
加古川市
質問日：2月28日

Q スタートアップ施策全体を今後どのように展開していくのか。
A 【答弁者：産業労働部長】
伸びしろが大きいスタートアップを県が認定し集中的に支援するほか、ものづくり分野で活躍するスタートアップの創出を図るなど、特色あるスタートアップ支援施策を展開する。

公明党
まつお ともみ
松尾智美
姫路市
質問日：2月26日

Q 家庭廃食油のSAFへの活用に向けた資源循環推進の取組について。
A 【答弁者：環境部長】
来年度、まずは空港周辺自治体、小売店等と連携し廃食油の店頭回収実証実験を行い回収方法のモデルを構築する。実情に応じた廃食油の回収システムへ向け市町へ支援を行う。

自由民主党
まえい まき
前井まき
宍粟市
質問日：2月27日

Q 新たな森林管理に向けた兵庫県森づくり支援センター（仮称）の役割とは。
A 【答弁者：農林水産部長】
同センターは県と農林機構の協働体制のもと、分収林地を含む県内森林の新たな管理スキームの中核を担う。市町や森林所有者から委託を受け、森林経営管理や森林整備等を進める想定。

ひょうご県民連合
なかた えいいち
中田英一
三田市
質問日：2月27日

Q 選挙や政治活動に関連する虚偽情報についての現状の認識について伺う。
A 【答弁者：警察本部長】
デマや誹謗中傷については、社会全体で改善に向けて取り組んでいく必要があると考えるが、県警察としても、県議会や県民からの指摘を真摯に受け止め、しっかりと対応していく。

維新の会
わきた わきた
脇田のりかず
西宮市
質問日：2月28日

Q 教員の不祥事は非常に問題である。根絶に向けた対策について伺う。
A 【答弁者：教育長】
県立総合教育センターで独自の研修資料のもと研修を行っている。今年度は新たに全県の臨時講師約4000人を対象とした研修を県下8会場で実施した。今後も非違行為の根絶に向け取り組む。

高齢者のための
特殊詐欺対策について



公明党
こしだ ひろあ
越田 浩矢
神戸市長田区

Q 自動録音装置のスピーディーな普及促進に向け、高齢者に事業を理解してもらい、安心して設置のサポートにつなげる具体策について伺う。

A 【答弁者：知事】
今回、現在使用している電話機に繋ぐだけで利用できる外付けの自動録音装置を無償配付することとした。配付に際しては、被害リスクの高い世帯に確実に行き届くよう、警察の戸別訪問や自治会等を通じた案内など、プッシュ型で進めるとともに、設置サポートを関係団体に要請していきたい。

個人情報の漏洩に関する
第三者調査委員会について



ひょうご県民連合
うえの ひでかず
上野 英一
神崎郡

Q 個人情報の漏洩に関して、知事は人事課と法務文書課所管で2つの第三者調査委員会を設置されているが、その設置根拠と予算根拠について伺う。

A 【答弁者：副知事】
人事課及び法務文書課所管の2つの第三者調査委員会については、県が各委員との間で個別に調査委託契約を締結し、調査を委託したものである。3月末を目途に調査を終えるべく作業を進めており、費用については、緊急に対応するため、既定経費を用いて対応してきたが、2月補正予算において措置することとしている。



公明党
しまやま きよひこ
島山 清史
神戸市須磨区

Q 不登校児童生徒への経済的支援の新しい制度に神戸市も対象とすべき。

A 【答弁者：教育長】
神戸市へは義務教育に係る全ての権限が移譲されている。市の権限で地域の特色や課題に応じた教育施策を展開できる環境が整っており、市において事業化されることを期待する。



自由民主党
ないう ひょうへい
内藤 兵衛
西脇市及び多可郡

Q 兵庫県において大学授業料無償化に取り組み意義について。

A 【答弁者：知事】
兵庫の若者が、安心して希望する教育を受ける仕組みづくりのため、先駆的に実施するもの。日本の子供たちが夢を持ち、安心して将来を描ける道筋を兵庫からつくってきたい。



維新の会
ながさき ひろちか
長崎 寛親
神戸市兵庫区

Q 白バイ乗務員の技術を活かした県下の交通事故防止対策をどう進めるか。

A 【答弁者：警察本部長】
白バイの高い機動力を生かした速度取締りや暴走族関連違反の取締りを行っているほか、交通安全イベント等において、白バイを活用した効果的な広報啓発もしている。



維新の会
あおやま しょう
青山 暁
芦屋市

Q 終活最先端県を目指して「人生会議(ACP)」の推進に向けた取組は。

A 【答弁者：保健医療部長】
フォーラムや研修会開催、「在宅看取り医療連携システム」の全県展開を支援。自分らしい最後を迎えるため「人生会議」の一層の普及に向け、市町や医師会等と連携して取り組む。



日本共産党
しょうもと えつこ
庄本 えつこ
尼崎市

Q 告発文書の初動対応を誤りと認め、会見の発言と処分撤回を求める。

A 【答弁者：知事】
文書は事実と異なり、個人・企業名も多数含まれ、多方面に著しい不利益を及ぼすと認識した。会見での強い表現は反省しているが、初動から懲戒処分に至る一連の対応は適切だった。



自由民主党
ながせ たかし
長瀬 たけし
神戸市東灘区

Q 花粉症対策の観点から都市部住民の森林管理への理解を求めるべき。

A 【答弁者：農林水産部長】
県民共通の財産である森林を社会全体で支えていくことが重要で、都市部住民にも身近な森林機能に着目し、当事者意識の醸成を図る。神戸市からの要望等も踏まえ対応していく。



自由民主党
おとよ やすたか
大豊 康臣
加西市

Q ひょうごTECHイノベーションプロジェクトの市町等への横展開は。

A 【答弁者：知事】
県内での横展開はもとより、全国の自治体や民間事業者にも広げるため、県外展示会でのPRや民間事業者へのピッチイベントなどに取り組み、広く公共や民間での活用を後押しする。



自由民主党
ながおか たくたか
長岡 壮壽
赤穂市・赤穂郡及び佐用郡

Q 光部強度行動障害対応モデル地区の現状と今後の進捗見込みは。

A 【答弁者：知事】
西播磨地域における強度行動障害への支援体制構築は重要であるため、専門家等の意見を伺うとともに、地元市町や当事者団体等との合意形成もしっかり得ながら着実に進めていく。

県政改革調査特別委員会調査報告書の提出 2月4日

昨年3月22日に設置以来、13回にわたり県政改革に関する調査・検討を行い、その結果を取りまとめた報告書を委員長から議長へ提出しました。



文書問題調査特別委員会調査報告書の提出 3月4日

昨年6月13日に設置以来、18回にわたり元県民局長作成の文書の真偽と公益通報者保護に関する調査を行い、その結果を取りまとめた報告書を委員長から議長に提出するとともに、議会での了承を得ました。



一般質問用語解説

- 松尾智美 議員
【SAF】持続可能な航空燃料
- 青山暁 議員
【人生会議(ACP)】もしものときのために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組
【在宅看取り医療連携システム】地域の医療関係者等が患者のACP等に関する情報を共有できるシステム
- 大豊康臣 議員
【ひょうごTECHイノベーション】県内にある様々な課題を官・民が手を取り合って解決を目指す
【ピッチイベント】主にベンチャー企業が自社の魅力や将来性について投資家に売り込み、資金を獲得することを目的とする催し

一般質問は、質問日毎に下のQRコードから視聴できます。



第370回

2月定例県議会

2月18日~3月26日

今回の議会で定められたこと

● 条例、予算及びその他議決案件（計118件）

＜議員提出議案＞

- ◆ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 他

＜知事提出議案＞

- ◆ 令和7年度兵庫県一般会計予算
- ◆ 令和6年度兵庫県一般会計補正予算
- ◆ 県立大学授業料等無償化基金条例
- ◆ 兵庫県県政改革方針の変更 他

●意見書（計9件）

- ◆ 過労死等防止対策推進法の見直しを求める意見書
- ◆ 再生資源物の屋外保管に係る法整備を求める意見書
- ◆ 学校へのスクールカウンセラー等の配置拡充を求める意見書

- ◆ 災害ボランティア活動に係る支援制度の充実を求める意見書
- ◆ 「授産品」の用語を使用しないことを求める意見書
- ◆ 若者の政治参加を促進する方策の更なる検討を求める意見書
- ◆ 警察学校における老朽化した施設の整備や空調設備設置の加速化を求める意見書
- ◆ 阪神・淡路大震災30年の取組を踏まえた大規模災害対策の更なる充実を求める意見書
- ◆ 旧姓の通称使用の法制化・選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書

● 請願 (計2件)

- ◆ 旧姓の通称使用の法制化を求める意見書提出の件
- ◆ 過労死等防止対策推進法の見直しを求める意見書提出の件

県議会ニュース



常任委員会と県民との意見交換会

県議会では、地域において様々な活動を展開している県民の方々と意見交換を行うことにより、常任委員会の審議や調査研究活動に反映していくため、「常任委員会と県民との意見交換会」を実施しています。

<令和6年度実施状況>

委員会	とき・場所	参加者	内容
総務 常任委員会	1月22日 (川西市)	かわにし防災士の会 役員等	市役所と連携した防 災士活動の取組
健康福祉 常任委員会	1月30日 (たつの市)	特定非営利活動法人 播磨オレンジパート ナー職員、関係者等	認知症の人の社会参 画推進活動等
産業労働 常任委員会	2月6日 (姫路市)	株式会社KAJIWARA 役員等	県内企業における戦 略的な投資
農政環境 常任委員会	1月24日 (赤穂市)	赤穂市漁業協同組合 若手漁業者等	地域特性を生かした 持続可能な水産業の 振興
建設 常任委員会	1月30日 (洲本市)	兵庫県建設業協会 淡路支部役員等	土木インフラ整備・ 維持管理等における DXの推進
文教 常任委員会	1月23日 (豊岡市)	県立豊岡高等学校 生徒	スーパーサイエンス ハイスクール (SSH) 指定校としての取組等
警察 常任委員会	1月29日 (神戸市)	兵庫県警察防災学生 ボランティア等	兵庫県警察防災学生 ボランティアの活動 実績

議場コンサートの開催

2月18日

第370回2月定例県議会の開会に先立ち、兵庫芸術文化センター管弦楽団による「議場コンサート」が開催されました。（1面写真参照）
レジデント・コンダクターの岩村 力さん指揮の下、モーツァルト作曲「ディヴェルティメント 二長調 K.136 第1楽章」をはじめ4曲が演奏され、最後は傍聴者の皆さんと「ふるさと」を斉唱し、素敵なひとときを過ごしました。

「ひょうご県議会だより高校生WEB版」 高校生記者募集！

兵庫県議会では、若い世代に県議会を身近に感じてもらうため、兵庫県議会HP内に「ひょうご県議会だより高校生WEB版」を開設しています。

公募による高校生が独自の視点と着想で県議会や議員を取材し、オリジナリティあふれるコンテンツを発信中！

あなたも日頃感じている何気ない疑問を議員にぶつけて、あなたらしいコンテンツを制作してみませんか？



ひょうご県議会だより
高校生WEB版
はこちらから



募集の詳細
はこちらから